

早川町—山村留学制度

早川町山村留学制度について

山村留学制度とは、どんな制度？

平成 15 年度から行われている「山村留学制度」は、早川町の豊かな自然環境の中でお子様を学ばせたいと考えているご家族を支援する制度です。



山村留学手続きの流れ

早川町の子育て支援について

1

お問い合わせ

メールまたはお電話でお問い合わせを受け付けております。



✉ kyouiku@town.hayakawa.lg.jp
☎ 0556-45-2547

2

見学日の調整

早川町に訪問される日程を調整し、決定します。



3

町内の見学

町内の学校・山村留学専用住宅、町の雰囲気を見学して頂きます。



前向きにご検討頂ける場合は、早川町教育委員会の担当者と面談をして頂きます。

4

内定通知

後日、山村留学をするかどうかの意志の最終確認をさせていただきます。



ご家族の皆様のご同意が必要です。その後、内定通知をお出しします。

5

契約

早川町教育委員会にて、契約締結を行います。



移住先の集落への寄合に参加していただき、集落の皆様と顔合わせをして頂きます。

1

早川町小中学校教材費等無償化

教育に必要な校外学習等の経費。

- ・修学旅行の全経費（お小遣い等は自己負担）
- ・スキー / スケート教室の全経費（お小遣い等は自己負担）
- ・社会科見学の全経費（お小遣い等は自己負担）



※日帰り・初日のお弁当は持参。

教育に必要な教材費等。

- ・教科別テスト
- ・学習ドリル
- ・卒業アルバム製作経費（中学校） / 卒業制作経費



2

早川町学校給食費無料化・保育所給食費無料化

早川町内の小中学校 / 保育所の給食費は全て無料です。



3

子ども医療費無料

出生から満 18 歳に達する日以後、最初の 3 月 31 日までの医療費は無料です。

（例：2022 年 9 月 1 日に 18 歳に達した場合、2023 年 3 月 31 日までの医療が無料）



〒 409-2713
早川町教育委員会
山梨県南巨摩郡早川町保 5 0 9
0556-45-2547

早川町山村留学
公式 Instagram



hayakawa_boe

ごあいさつ

早川町教育委員会
課長 杉山浩一
教育長 望月法仁

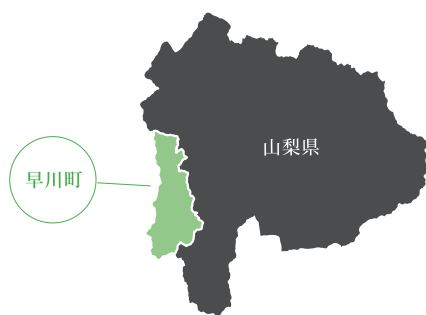


早川町は、2014 年に関係する 9 市町村とともに
ユネスコ エコパークに登録された南アルプスの麓の町です。

369・96km²と広大な町の面積のほとんどが山林で、町名の由来となった早川が町の中央部を流れる、大自然に囲まれた町です。平成の合併が進んだ現在、日本で一番人口の少ない町でもあります。

そんな自然豊かな町の小学校2校中学校1校で、「親子で山村留学」を実施しています。各学校は、それぞれ小規模ではありますが、自然の中で伸び伸びと、学校では一人一人が主役となり笑顔が輝く、そんな特色ある早川教育を実践しています。小規模校だからこそ先生は児童生徒一人一人に目が届き、向き合え、個に応じた学習が進められます。発言機会も多く、一人一人の役割や責任も大きく、子供の成長につながります。少人数ゆえに、同年同士の横の関係だけでなく、上級生や下級生との縦割り活動が日常的に展開され異年齢との集団活動により社会性を育む力にもなります。

これからの時代を担っていく子供たちに「山村留学」を通じて義務教育時代を大自然の中で豊かに学び、生きる力をつけてもらいたいと私たちは願っています。子供たち一人一人を大切に育てる、義務教育経費無償化や給食費無料化、18歳までの医療費無償化等を制度化し、地域で子育てを支援します。早川町で、そんな体験をしてみませんか？



市川歩夢さん

早川町立早川北小学校5年生

早川町での環境について

川や山がすぐ近くにあるところが気に入っています。東京にいと縁に囲まれていることが少なく、天然水を飲んだり、山や川で遊ぶ機会が全然ないけれど、ここは沢山の緑に囲まれている環境です。

授業について

少ない人数で授業ができているところが好きです。みんなでプリントの直しをする場面では、すでに終わっている人が、まだ終わっていない人に自然に教えてあげています。自分も教えることで改めて理解が深まるし、僕自身も、教えることが好きです。先生に言われなくても、みんなが自発的にやっていることがたくさんあります。

歩夢さんにとって、北小とは？

全校児童の数は少ないけれど、大きな学校に負けないくらい一人一人が頑張っていて協力している学校です。役割を担当しきれない低学年は、高学年が手伝い教えてあげたりしています。一人一人が時間配分や役割を理解しているから、誰かが練習をしていなかったり、役割を果たしていなかったりすると、みんなで声をかけをする文化があります。お互いがそれぞれを助け合っている環境です。

北小学校の一大イベント、わらべどんぐり祭について教えてください。

みんなでゼロから作り上げる、早川町の地域を題材にした民話劇があります。毎年テーマにする地域は先

生達が決めますが、そのほかはすべて僕たちで作っていきます。物語のあらすじは、最初に高学年が作り始め、その後はみんなから意見をもらいながら、物語全体を作り上げていきます。セリフや登場人物は、全てみんなで作り上げていくのが特徴です。全校合唱や合奏においても、みんなが一緒に作り上げるという意識を持っています。

人数が少ないので、北小を盛り上げたいという気持ちには、みんな根っこに持っているんじゃないかと思っています。もちろん、成功させたい！という気持ちもありますが、みんなが個人練習をしながら、お互いを励ましあいながら、観に来てくれる人たちに、感動を与えることを目指しています。

地域の人に、日常のがんばりを発表する場だと思っています。わらべどんぐり祭りは、僕たちの集大成です。





上原梅音さん

早川町立早川中学校2年生
(生徒会書記)

望月陽平さん

早川町立早川中学校3年生
(生徒会長)



深本さくらさん

早川町立早川南小学校4年生

早川中学校の魅力を教えてください。また、卒業までに何をきて何を作り上げていきたいですか？

陽平さん：一人一人が個性的で、しっかり主張できるところが魅力です。演劇や太鼓は、それぞれが個性あふれる演技を披露します。小学校時代の児童会長の経験を経て、今は生徒会長をしています。みんなをさらに引っ張っていこうという気持ちが強くなりました。一人一人が楽しく明るく、いつも笑顔があふれる学校作りをしていきたいです。

梅音さん：早中はお互いを知ることができる学校です。一人一人の個性が強いので、相手を知ろうとする力、バランスをとっていく力、相手を認めていく力が自然とついていきます。それと並行して、自分自身を高めていく力がついたように感じています。卒業まで、色々な「当たり前」のレベルをあげていきたいなと思っています。人によって「当たり前」は違うと思うので、だからこそ、それらをみんなで決めながら、お互いを高めあえるようにしていきたいなと思っています。

中学校を卒業してからの将来のビジョンについて、聞かせてください。

陽平さん：体を動かすことがとても好きなので、高校に入ったら運動に関係する事をしたいと思っています。将来は、スポーツ関係の仕事に携わりたいと思っています。

梅音さん：将来は、宇宙に関係する事、国際協力、環境正義に関わることをしていきたいです。自分で調査・研究し、実践的に活動していく中で、世界で活躍できる人生を送りたいと思っています。



早川町での生活について

山に囲まれているところや、川遊びができるところが好きです。まだ行ったことがない集落もあるけど、とても環境がよく綺麗なので、これからもずっと早川に住みたいと思っています。

南小の音楽活動について

吹奏楽が50周年で、伝統です。人数が少なくなってきたので、残念です。私は、ユーフォoniumを担当しています。パート練習は基本的に個人練習で、リズムを覚えて音を調整していくのですが、みんなで音合わせをする時に、音がばっちり合う瞬間が特に好きです。音がそろった！と感じる瞬間がとても嬉しいです。



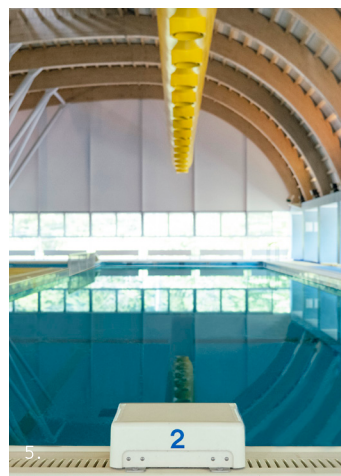
さくらさんにとって南小とは？

私は今、南小の中で、一番人数の多いクラスにいます。4人みんなで声をかけあえること、協力しあえること、そして困っている誰かを助けることができます。クラスをまたいだ関係があるところも、南小のいいところです。児童会で、「ニコニコ作戦」というものがあります。みんなでアイデアを出しながら、一緒に遊ぶ機会を作っています。そういった取り組みが、みんなの笑顔や仲の良さに繋がっている気がします。





- 1,2. 北小学校校舎
3. BEANS フィールドワーク
4. オープンスペース教室
5. 屋内温室プール



見

見渡すかぎり広がる山々が織りなす渓谷は、眺めているだけで心が潤っていく感覚があります。

どこを切り取っても絵になる校舎はとても近代的で、細部にわたって洗練されたデザイン性を感じます。入り口を入ると出迎えてくれる、木製の鳥の置物や、鹿のオブジェ。個性的で温かく、どこかユーモラスな作品は、全て一つ一つが手作りで作られています。

早川北小学校の各教室はオープンスペースで、教室と教室の間に壁はなく、簡単な仕切りがあるのみです。児童は、そんな一体感のある空間で日々学んでいます。

全校児童12名。専門知識をもったスタッフと年間を通して取り組んでいく自然観察活動「BEANS（ビーンズ）」や、地域の題材を掘り起こした民話劇上演が行われる「わらべどんぐり祭り」など、特色ある教育活動が行われています。

早川北小学校って どんな学校？

令和4年度現在、全校児童が12名ですが、複式授業は行われていません。早川北小学校は、少人数ゆえにきめ細やかな学習を受けられることが特徴です。特に北小学校の特色で

早川卓也校長よりメッセージ

私は早川町で生まれ育ちました。小学校の教員となり、これまで子ども達の教育に携わってきましたが、早川での生活や経験が、その礎となっているなと感じることが多くありました。それは、自分の実際に体験した経験を「生きた教材」として、多くの場面で学びに役立てることができたからです。

ここには、あきれほどの自然しかありません。これを、山と川しかないと思えるか、手の届くところに山と川があると捉えるかで、考え方は大きく変わってくるはずで。早川で生まれ育った私にとってみれば、こんな贅沢な学び場はありません！

子ども達には大自然の中でのびのびと活動し、その楽しさだけでなく自然のもつ怖さも感じながら、自ら考えて行動できる力や、心身のたくましさをも身につけて欲しいと思っています。そんなことができる素晴らしい環境の中に早川北小学校があります。



6,7. 自然観察活動 BEANS の様子
8,9. 授業の様子



BEANS って具体的に どんな活動？

あるBEANS（ビーンズ）（課題解決学習・自然観察活動）では、子どもたちが地域の自然を探索し、専門知識を持つスタッフと共に年間を通して研究を続けていきます。

また、児童一人一人に大切な役割があるので、様々な行事や活動を全校児童で協力して行います。1年生から6年生までが縦割りグループを作り、様々な取り組みを行う北小学校では、たとえ1年生であっても与えられる役割があります。大きな学校のように集団の中に埋もれてしまうことはありません。一人一人に大切な役割があり、それが尊重される学校です。児童の個性に合わせた活躍の場と成長が用意されています。

BEANS（ビーンズ）とは、Be come（ビカム）A（ア）Natural（ナチュラル）Scientists（サイエンティスト）の頭文字をとったもの。「自然科学者になるう」と題し、平成27年度から早川北小学校で取り組んでいる野外自然観察活動です。3年生～6年生の児童が、総合学習として、興味のある自然対象を選び、年間を通して、地域の自然を探索します。

学校の近くにある野鳥公園で、常駐する専門知識を持ったネイチャーガイドのスタッフからのサポートを受け、それぞれが自然への疑問を探索していきます。子どもたちの研究対象は十人十色。ある子は木の実で

チャレンジを続けていくこと

小規模校では、児童一人一人の長所と短所が把握しやすい傾向にあります。また、児童と教師との距離が近いので、常に成長にコミットし、改善に繋がっていくことができます。学習における雰囲気や可能性を大切にしながら、児童が自分の本当の強みと可能性を理解することができる環境の創造に、日々努めています。

また、小規模校は地域との関係性がとても深いのが特徴です。児童は地域との関わり合いの中で、自分たちが地域の一員であるということを自覚します。これは、言葉では説明しがたい素晴らしい体験であり、環境です。



1. 南小学校児童 2. 南小学校校舎 3. 教室 4. 授業の様子 5. 校舎玄関

七面山の麓に立ち、
春木川のせせらぎ
が聞こえる校舎で、
楽しい学校生活を送っています。

木々の温もりと、天窓からたくさん
の陽射しが降りそぐ校舎。空
とのつながりを感覚的に得られる
一つ一つの空間は、季節の変化を
肌で感じることができます。

学校を訪れると感じる、子どもたち
や先生のおふれるような笑顔。南
小学校を包み込む柔らかな雰囲気
は、一人一人が作り出しているよ
うに感じます。

「どこに行っても美術館、どこに
行っても図書館のある学校」をテー
マに建築された校舎は、いたるところ
に本や美術作品が設置されて
います。

早川南小学校って どんな学校？

全校児童は15名ですが、複式授業
は行われています。全校のみんな
が仲の良い、アットホームな学

校です。休み時間は、学年関係なく
遊び、児童会活動は、みんなで協力
して取り組んでいます。子どもたち
一人一人が主役の学校です。音楽活
動や読書活動を通し、豊かな感性や
人間性を育てています。

子どもたちが生き生きと主体的に
学び、理解する喜びや、できるよう
になったという充実感を味わえるよ
うな授業づくりを心がけています。
少人数を生かし、きめ細やかな個に
応じた指導をベースに、充実した言
語活動が繰り広げられており、常に
丁寧な振り返りを大切にしています。

子どもたちが音楽活動に一生懸命
に取り組む姿は、とても印象的です。
また、自分の考えを自由に表現する
子どもを見ると、南小学校らしい教
育目標が体現されていることを実感
します。

地域との関係

南小学校の周りには、江戸時代の
面影を残す赤沢宿や山梨県の伝統工
芸品である雨畑硯など、歴史的な文
化が保存、継承されている地域があ

歌っています。

早川南小学校は、読書活動にも力
を入れています。「読書のすすめ」
や「読み聞かせ」といった活動を
通して読書の幅を広げ、豊かな感
性を育てています。

「読書のすすめ」では、学年ごとに、
自分のおすすめの本を紹介しま
す。クイズや紙芝居、ICT機器を用
いるなど、紹介する方法にも工夫
が凝らされています。

また、月に一度、先生たちが「読
み聞かせ」をしています。「友達」平
和「環境」「落語」などをテーマに、
いろいろな分野の本に触れてもら
うことで、読書の幅を広げています。

夏休みの課題の一つに、「親子読
書」という取り組みがあります。親
子で選んだ本と一緒に読み、感想
文と絵を一枚の画用紙に表現して
きてもらいます。それぞれの家庭で
描かれた作品を全てつなぎ合わせ、
一冊の絵本を作ります。そして仕
上がった絵本を、回覧板のように
各家庭に回し、楽しみます。

「どこに行っても美術館、どこに
行っても図書館のある学校」で、子
どもたちは新しい物語や主人公に
出会い、想像力の世界に日々親し
んでいます。

山下俊校長よりメッセージ

1年生にとって初めての掃除の様子を
見に行くと、誰が指導をしたわけでもな
いの、上級生が1年生に優しく教え
ながら一緒に掃除をしている姿がありま
した。

大規模校だと、横のつながりのみの場
合が多いのですが、早川南小学校は、縦
のつながりがとても強いのが特徴的で
す。それらは教師が教えてきたものでは
なく、長い間、子どもたち同士で受け継
がれてきている文化や風土のように感じ
ます。それが、学校の一番の魅力だと私
は感じます。

早川町は、都会にはない豊かな自然の
中、子育てや教育に手厚い町の施策を享
受しながら生活をしていくことができる
場所です。温かい地域住民の方々に支え
られながら、教師も子ども達も、まるで
一つの家族のように、笑ったり、泣いた
り、遊んだりしながら学んでいく魅力的
な学校です。



6. 体育館 7. 読書活動 8. 生活科での観察





1. 開放感のある教室 2. 陽が差し込む廊下 3. 放課後の陸上練習 4. 早川中学校校舎



〒409-2713
山梨県南巨摩郡早川町保666
0556-45-2255

に意見を出し合いながら、学びを深めていきます。また、教師が生徒と向き合う時間が多いため、個々に応じた指導が可能になり、確かな学力へとつながっていきます。

学校生活の創造

充実した生徒会活動は、早川中学校の伝統の一つです。生徒総会では、「早中を良くするためには何が必要か」「充実した学校生活にするために自分たちには何ができるか」を、徹底的に議論します。承認された活動方針をもとに、生徒一人一人が責任を持って取り組みます。

また、全校生徒を、A団・B団・C団の3つに分け、「団活動」と称し、給食当番や生徒会行事などを縦割り班で行っています。異年齢集団で活動することにより、思いやりや優しさを育み、社会性を高めていきます。

部活動は、陸上部・ソフトテニス部・音楽部の3部が設置されており、小規模校としての課題もありますが、生徒の興味・関心を生かすよう工夫されています。

また、「アクティブ体力作り」と称し、基礎体力の向上を目的に、放課後の時間を利用してストレッチや長距離走を中心とした体力作りの時間を定期的に設けています。

早川町唯一の中学校、早川中学校。全校生徒は23名。昔ながらの校舎の素朴な廊下を照らす、優しい陽射し。各教室の天井は、十分な開放感とともに光をとりこみます。随所に設けられたカラフルな天窓や丸窓、図書室のガラスブロックの壁は、さりげない遊び心を感じます。

個性を尊重する少人数教育

小規模校である早川中学校は、一人一人の考え方や意見を尊重することを大切にしていきます。思考力やコミュニケーション能力を身につける事を目標とし、互い

「全員が主役」を掲げる早川中学校。それぞれの生徒に活躍の機会がある少人数での教育活動は、将来必要となる生きる力を育み、一人一人が豊かな

こどもは地域の宝 伝統の継承

早川町は人口1000人に満たない小さな町です。ですので、地域の方々と学校との距離がとても近いのが特徴です。日々地域の方々に見守られながら、生徒は充実した学校生活を送っています。

また、早川中学校は、伝統である南アルプス白鳳太鼓の継承に力を入れています。地域の方々への感謝を込め、白鳳祭や地域行事にて演奏を披露します。

環境保全活動

90%以上を山林が占める早川町にとって、林業は町の産業を支える大きな柱でした。年に一度開催される「学校林整備」では、団ごとに伐採をして、同じ長さに切りそろえ、木材の運び出しを体験します。

先人の苦労を知り、環境保全の大切さを考える機会を創出しています。

ステップアップ学習

早川町では、中学生は町の負担で各種検定を無料で受検できる制度があります。（年に一度のみ）早川中学校では、英語検定、漢字検定、数学検定等の検定試験を受けるにあたり、主体的な学習を促すことを目的とした「ステップアップ学習」

の期間を設けています。生徒が自分の興味に合わせて学習の仕方を学んでいく中で、自分の可能性を見出していきます。

合唱活動

合唱活動は、早川中学校の伝統的な活動の一つです。歌う楽しさを通して、自己表現をしながら自分自身を解放し、表現力を養うことを目的としています。少人数であることをカバリーするための工夫を必要としますが、学年合唱では無伴奏の曲に挑戦したこともあります。

グループダイナミクスへの挑戦

より多様な機会を創出するために、早川中学校では、シャッフル学活やシャッフル道徳という取り組みを行っています。担任ではない先生が帰りの会を行ったり、教頭先生や校長先生が道徳の授業を担当したりすることもあります。

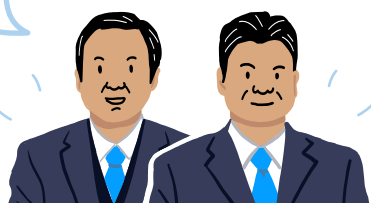
できるだけ多くの多様な価値観に触れる機会を創出し、交流できるような取り組みと共に、豊かな多様性を培います。

芦沢校長 / 古屋教頭よりメッセージ

都会では経験することができないさまざまな体験が、この雄大な自然の中で育めます。早中生の魅力は、なんといっても素直さや礼儀正しさ、人懐っこさです。自分の夢に向かって進んでいく力があり、計り知れない可能性を感じます。

授業に関しては、先生の目が行き届きやすく、個別の指導をすることが出来ます。一人一人の生徒の学習における理解度を把握しながら、苦手な部分にアプローチすることができるのも、小規模校の特徴です。

少人数が故、限られた中での人間関係となります。自分というものをしっかりと持ちながら、周り向き合えるような心持ちでいることがとても大切です。



5,6,7. 授業の様子 8. ALTによる英語の授業

